

静岡県信連について

1. 静岡県信連の概要

(令和元年9月30日現在)

- 設 立：昭和23年8月
- 住 所：静岡市駿河区曲金三丁目8番1号
- 会 員 数：51会員（正会員31会員／准会員20会員）
- 出 資 金：1,113億円
- 役 員 数：経営管理委員16名／理事5名／監事4名
- 職 員 数：276名（男子175名／女子101名）
- 店 舗 体 制：本店／富士営業部／浜松支店

2. 経営方針

経営方針

当会は、“農業金融を協同の精神で支援する県単位の連合組織金融機関”であるとともに、“地域社会と地域経済に密着した金融機関”として会員・お客さまの期待と信頼にこたえることを使命とします。

理 念

- 連合組織金融機関として調和を大切に効率的な組織機能を発揮します。
- 創造性ある金融サービスをとおして地域社会と夢のあるつながりを目指します。
- 社会的責任を自覚した健全経営を行います。

3. 静岡県信連グループ中期経営計画

当会では、農業者・利用者・地域に選ばれ、成長し続けるJAバンク静岡の実現に向け、「静岡県信連グループ中期経営計画（平成29～31年度）」における「農業所得増大・地域活性化への全力投球」、「JAバンク静岡の発展に資する更なる機能発揮」を使命と位置付け取組んでいます。

静岡県信連グループ中期経営計画（平成29～31年）

【使命1】

農業所得増大・地域活性化への全力投球
～JAバンク自己改革“3本柱”の実践～

地域No.1戦略（農業メインバンク機能強化）

オンリー・ワン 戦略（生活メインバンク機能強化）

安心バンク戦略（経営管理・ガバナンス・営業基盤強化）

信連グループ一体となったJA事業サポート戦略

【使命2】

JAバンク静岡の発展に資する更なる機能発揮
～JAバンク静岡としての財務健全性確保～

「食と農」の専門性を活かした融資戦略

安定した利益還元のための余裕金運用戦略

安定調達戦略

安定的財務運営戦略

4. JAバンク自己改革の取組み

農業を取巻く状況は厳しさを増すなか、JAグループは、平成26年に自らの改革として「JAグループ自己改革」を策定しました。JAバンクも、JAグループの一員としてこれまで以上に農業・地域に貢献していくため、信用事業の取組みを「JAバンク自己改革」として取りまとめ実践してきました。

当会におきましても、JAバンク静岡アグリサポートプログラムをはじめとした農業者支援や、JAらしい金融サービスの提供等の県域施策を推し進め、今後も引き続き、農業所得増大・地域活性化に結び付く取組みを継続していきます。

信連による県域施策

① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応

- JAバンク静岡アグリサポートプログラム
- 農業経営者の課題解決に向けたサポート
- 県内農畜産物の販路拡大と販路拡大による農業所得の向上支援

② JAが営農経済事業に全力投球できる環境整備

- JA店舗機能及び運営体制の整理・検討

③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献

- 金融移動店舗車両の導入
- JAカード割引施策によるファーマーズマーケット等の利用促進
- 子育て応援アプリを活用した地域・利用者とのコミュニケーションの充実

5. 農業メインバンク機能の強化等にかかる取組み

当会は、平成28年度より「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」を実施し、静岡県内農業者の所得向上に向けた金融支援、並びに将来の農業担い手育成支援を実施しております。

① JAバンク静岡保証料助成

農業資金のお借入をされる農業者を支援するため、保証料助成による金融支援を行っています。

② JAバンク利子補給

農業資金の融資を受ける農業者の借入負担の軽減を図り、経営をバックアップするため、利子補給による金融支援を行っています。

③ 自然災害による農業被害への金融支援

台風・凍霜害・雪害等の自然災害に遭われた農業者へ利子補給・保証料助成による金融支援を実施しています。

④ 担い手育成支援

農畜産業の担い手の育成や、地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化につなげるため、県内の農業高等学校の学生が行う研究等に対して費用助成を行っています。